

◆第7回 テーマ別読解演習「自然・環境」⑦／説明文

説明文の学習では、話題、筆者の主張、具体例、段落構成を意識して取り組んでください。特に注意してほしい問題は、以下の通りです。

⊙ 問三 接続語の問題です。空欄の前後をよく読んで、つながりを考えます。

問八 傍線部の「それ」が何をさしているかをおさえましょう。

問九 地球温暖化に対する、筆者の主張に関する問題です。

ⓐ 問三 傍線部の「これ」が何をさしているかをおさえましょう。

問六 まず「玉石混交」の意味を確認して、「玉」と「石」がそれぞれどんなことと対応しているかをおさえます。

問八 具体例をおさえて、筆者の主張を選びましょう。

宿題 問三 長文記述の問題です。「行ったこと」と「逆効果になってしまったこと」をそれぞれまとめましょう。

問七 生態系に対する筆者の主張をおさえます。

◆第8回 テーマ別読解演習「自然・環境」⑧／説明文

前回に続き、説明文の学習では、話題、筆者の主張、具体例、段落構成を意識して取り組んでください。特に注意してほしい問題は、以下の通りです。

⊙ 問三 接続語の問題です。空欄の前後をよく読んで、つながりを考えます。

問五 脱文の指示語に注意しましょう。

問七 筆者の主張をしっかりとおさえて選びましょう。

ⓐ 問二 どのようなことがおこなわれていたかをまとめます。

問八 傍線部6のようなことになってしまった原因を、文脈をしっかりとどって見つけましょう。

問九 筆者の主張に関する問題です。

宿題 問六 具体化の問題です。まず「恵み」の意味をしっかりとおさえましょう。

問八 内容正誤の問題は、選択肢の内容と文章の内容を照らし合わせましょう。

◆第9回 テーマ別読解演習「自然・環境」⑨／説明文

前回に続き、説明文の学習では、話題、筆者の主張、具体例、段落構成を意識して取り組んでください。特に注意してほしい問題は、以下の通りです。

⊙ 問四 表現技法の問題です。この文章で使われているかぎかつこの意味をおさえましょう。

問八 「傘のような」と表現した比喻のねらいを考えましょう。

問九 正誤問題は、本文の内容を照らし合わせるようにしましょう。

ⓐ 問三 具体化の問題ですが、まずは「矛盾」の意味をおさえましょう。

問四 空欄の前後をよく読みましょう。文脈を迫りかける練習になります。

問七 長文記述の問題です。この問題は筆者の主張と関連しています。

宿題 問六 空欄を補う形式の問題です。こういう形式にも慣れておきましょう。

問七 表現技法の問題です。かぎかっこの意味をおさえましょう。

◆第10回 入試問題研究①

今回は入試問題研究です。入試問題を解くのですが、時間を計って、解答用紙に書き込みます。入試問題なので、難問に時間をかけ過ぎずに、問題選定をしながら解く実践的な学習をします。解答には配点を書いてあるので、WEBを見ながらマルつけをして、得点も出してみましょう。

⊕ 問一 語句の問題です。意味のわからない語句は前後の文脈からおさえてみましょう。

問六 情景の問題です。風景から主人公の心情を読み取ります。

問七 指定された説明の文の空欄に当てはめる形式にも慣れていきましょう。

Ⓞ 問二 それぞれの「笑い」の特徴をおさえます。

問五 空欄補充は前後を読んで、まずどんな内容があてはまるかを考えて、そのあと選択肢からふさわしいものを選びます。

問七 筆者の主張もしっかりとおさえた上で、答えを探しましょう。

宿題 問二 理由記述の問題です。80字以内ですので、具体的に書きましょう。

問九 脱文挿入の問題です。脱文の指示語に注意し、また文章のそれぞれの段落の内容をおさえて考えるようにしましょう。

4月からは小学校でも5年生に進級しますね。本格的に学習をスタートさせていきましょう。ただし、大切なことは、学習のリズムをしっかりとつかむことです。日々の課題に取り組むスケジュールは確立できていますか。くり返しになりますが、この講座をより深く理解するためには、本科教室をきちんと理解することが必要です。この基礎にあたる部分を大切に、取り組むようにしてください。

動画の構成としては、まずは「例題」が各回3～4題収録されています。例題は動画を見ながら解法の手がかりとなる考え方を習得してください。例題の次には、練習問題として、例題の数値替えの問題が収録されています。機械的に数値を入れ替えて答えを出すのではなく、もう一度解法を確認しながら取り組むようにしてください。練成問題は、例題から派生した問題を中心に収録しています。このうち、例題から少し離れるタイプのうち、特に重要なものを動画で扱っています。各回の学習の目安は以下の通りです。

◆第7回 文章題V

「仕事算」をテーマにした回となります。仕事量を具体的に示されることはないので、これを自分で決めることからスタートします。そして、自分で量を決めたなら、その量で最後まで解ききらないといけません。これは絶対的なルールです。また、分数計算がたくさん出てきますので、計算の練習という側面ももっている回となります。しっかりと取り組んでください。

① 「例題と練習問題」

例題1－仕事算①

A君とB君の1日あたりの仕事量をきちんと理解することが大切です。

例題2－仕事算②

だれが仕事をしているのかを、しっかりととらえることによって、答えが明らかになってきます。

例題3－仕事算③

蛇口AとBは水を増やす役割を担い、排水口は水を減らす役割を担います。開閉の関係を確認していくことで、様子がわかります。

例題4－仕事算④

水を入れる状況は時間によって変化していきますが、給水管Aはずっと水を入れていることはわかりますね。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習問題に取り組んで、答え合わせをしましょう。そのとき、間違っていたら、どこで間違えたかをよく理解して、再度解き直しをするということを徹底してください。疑問点があれば、再度例題の動画を見てみましょう。

②「練成問題」

練成問題では、いくつか選択して動画で扱っています。その問題についてはしっかりと理解をしましょう。余裕があれば、残りの問題にも取り組んでください。ただし、理解には段階があります。時期を経て再び扱う問題もあるので、全部解かないといけないと思う必要はありません。

◆第8回 数論 I

約数をテーマにした回となります。約数はわり算と深い関わりがあります。この数を素数の積に分割していくとどうなるのかな？という視点を大切にしながら、取り組んでいきましょう。

①「例題と練習問題」

例題1－約数についての考察

素数の積に分解できる「合成数」の約数は、素数の組み合わせによって、構成されています。このイメージをもって取り組むと、深い思考ができるようになります。

例題2－公約数の文章題

大きな長方形を正方形に切り分ける。土地の周りに木を植える。これらの問題は公約数ではよくある設定です。なぜ、「約数」を使用するのか、しっかりと理解して取り組んでください。

例題3－約数と余り（余りが具体的にわかっている）

余りの処理は難しいですね。大切な考え方として、「割る数は余りよりも大きい」ことがあげられます。当たり前のことのように思いますが、意外と忘れてしまいます。注意しながら取り組みましょう。

例題4－約数と余り（余りは同じ数）

この問題を解くにあたって、「 \square で割り切れる数どうしの差は \square で割り切れる」ということが大切な考え方です。線分図を利用しながら理解を深めていきましょう。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習問題に取り組んで、答え合わせをしましょう。そのとき、間違っていたら、どこで間違えたかをよく理解して、再度解き直しをするということを徹底してください。疑問点があれば、再度例題の動画を見てみましょう。

②「練成問題」

練成問題では、いくつか選択して動画で扱っています。その問題についてはしっかりと理解をしましょう。余裕があれば、残りの問題にも取り組んでください。ただし、理解には段階があります。時期を経て再び扱う問題もあるので、全部解かないといけないと思う必要はありません。

◆第9回 数論Ⅱ

倍数をテーマにした回となります。倍数はかけ算と深い関わりがあります。また、倍数はとなりとの差が一定です。この視点から問題に取り組むと、いろいろと見えてくることもたくさんあります。

①「例題と練習問題」

例題1－倍数の個数

「4の倍数は4ごとにあらわれる」当然のことですが、大切な視点です。さらに、ベン図を利用しながら、倍数の重なりに注意して取り組みましょう。

例題2－倍数と余り①（余りが同じ）

余りが同じときは、「公倍数＋余り」が求める数となります。

例題3－倍数と余り②（不足分が同じ）

余りに注目したが、余りが異なったときは、「不足」に注目してください。不足が同じときは、「公倍数－不足」が求める数となります。

例題4－倍数と余り③（余りも不足分も異なる）

余りも不足も異なるときは、仕方ありません。共通な数の1番小さい数を調べ上げて見つけましょう。注意することは、2番目は「1番目の2倍」ではなく、「1番目＋最小公倍数」です。大切な考え方ですので、しっかりと理解してください。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習問題に取り組んで、答え合わせをしましょう。そのとき、間違っていたら、どこで間違えたかをよく理解して、再度解き直しをするということを徹底してください。疑問点があれば、再度例題の動画を見てみましょう。

②「練成問題」

練成問題では、いくつか選択して動画で扱っています。その問題についてはしっかりと理解をしましょう。余裕があれば、残りの問題にも取り組んでください。ただし、理解には段階があります。時期を経て再び扱う問題もあるので、全部解かないといけないと思う必要はありません。

◆第10回 数論Ⅲ

「倍数」を利用して取り組む回となります。ひと手間かけて、ああ、倍数の考え方を利用するんだなあとわかる問題ですので、しっかりと取り組んで理解を深めてください。

①「例題と練習問題」

例題1－商と余りの関係

商と余りが等しいとき、割られる数は、(割る数＋1)の倍数になっていることを理解してください。また、余りは割る数よりも小さいことも確認してください。

例題 2 – 割り切ることができる回数

「素数で割るとき」と「合成数で割るとき」の差をしっかりと理解して取り組んでいきましょう。

(2)と(3)、(4)と(5)の答えが同じになることはわかりますか。

例題 3 – 最小公倍数の利用

30m間かくの交通標識と、25m間かくの街灯は、30 と 25 の最小公倍数 150m間かくで同じ状況になります。最小公倍数を利用して、様子を理解しましょう。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習問題に取り組んで、答え合わせをしましょう。そのとき、間違っていたら、どこで間違えたかをよく理解して、再度解き直しをするということを徹底してください。疑問点があれば、再度例題の動画を見てみましょう。

② 「練成問題」

練成問題では、いくつか選択して動画で扱っています。その問題についてはしっかりと理解をしましょう。余裕があれば、残りの問題にも取り組んでください。ただし、理解には段階があります。時期を経て再び扱う問題もあるので、全部解かないといけないと思う必要はありません。